

1

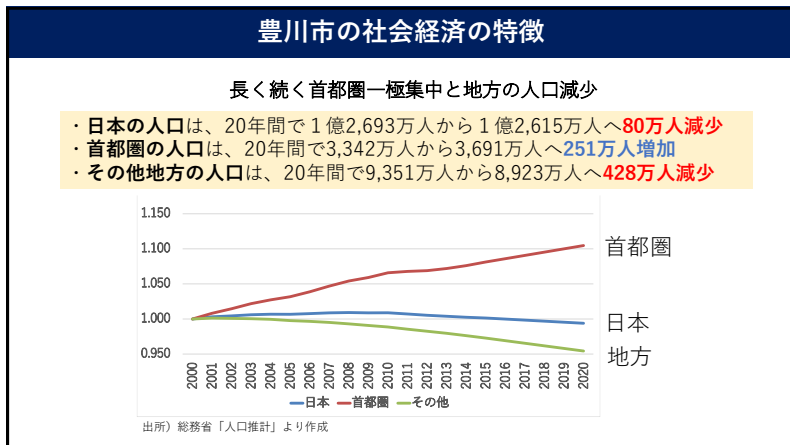
本日の講演内容

1. 豊川市の社会経済の特徴
2. 地域経済循環とは何か
3. 地域経済の活力を高めるために

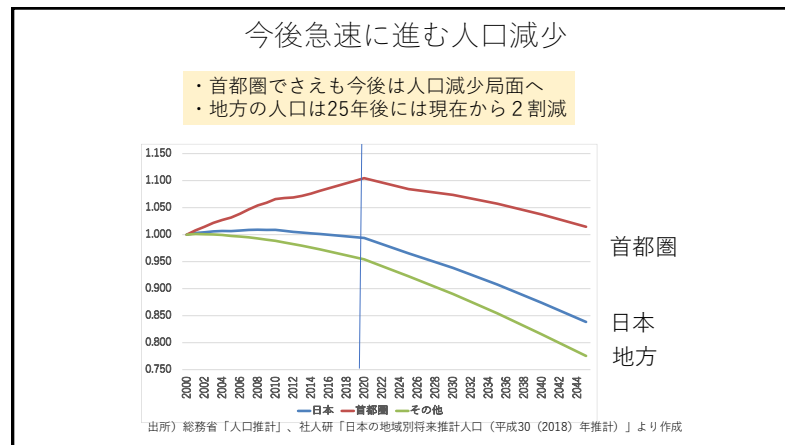
<事例>

瀬戸市の新しい循環～「ますきち」を核とした循環の取り組み～
ますきち 代表 南慎太郎氏の講演

2



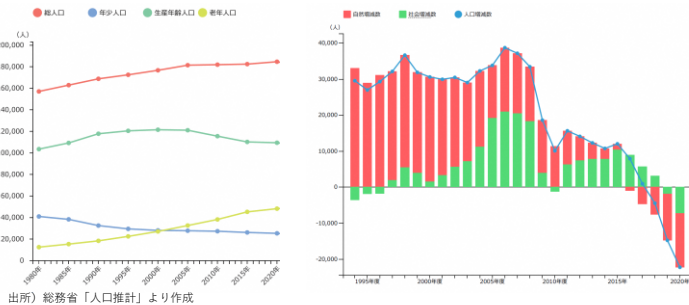
3



4

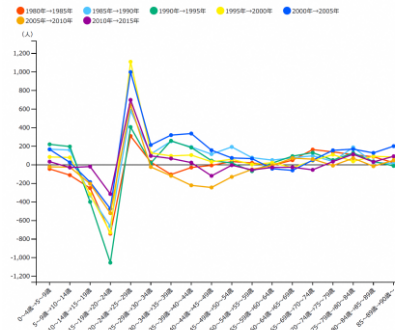
豊川市の人口動態

- ・これまで順調に増加した人口（特に近年の社会増）
- ・働く世代（15歳～64歳）人口の停滞と進む高齢化



5

・社会増減の要因は高校卒業から30代前半でほぼ決まり

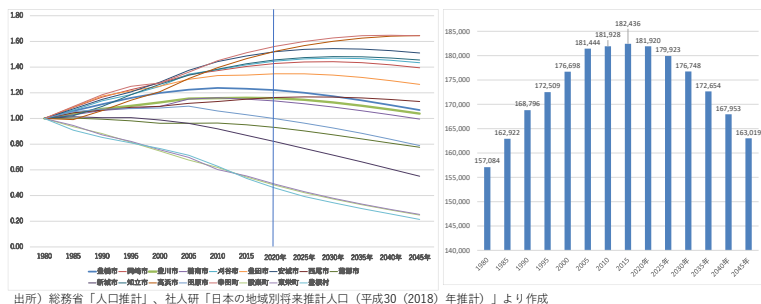


6

東三河の拠点豊川市のこれまでの人口増加と今後

・豊川市は東三河の拠点として順調に人口増加を果たしてきたが、今後は緩やかに減少

人口減少に負けない強い経済の必要性



7

東三河の拠点として大きな経済を築いている豊川市

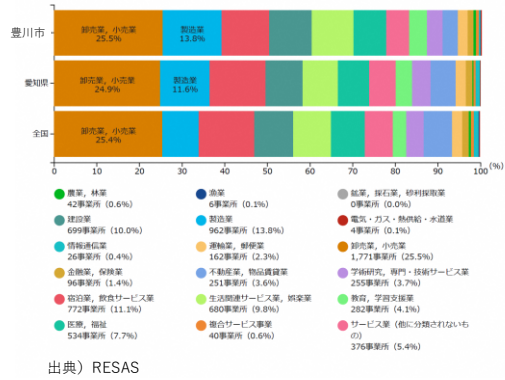
- ・人口規模、事業所数の割に従業者数が少ない
- ・市外からの通勤者数が多く、市内で得た所得を市外で消費している可能性（所得の市外への流出→市内での経済循環が働かない）

	豊川市	順位 (愛知県内)	順位 (全国)	豊橋市
人口 (2020年)	184,661人	8位	148位	371,920人
企業数 (2016年)	5,133社	8位	150位	11,440社
事業所数 (2019年)	7,752事業所	7位	154位	16,651事業所
小売店舗 (2016年)	1,412店	7位	145位	2,816店
従業者数 (2014年)	85,026人	10位	144位	17,716人
市外からの通勤者数	21,720人	15位	179位	27,312人

出典) 統計ダッシュボード (<https://dashboard.e-stat.go.jp/>)

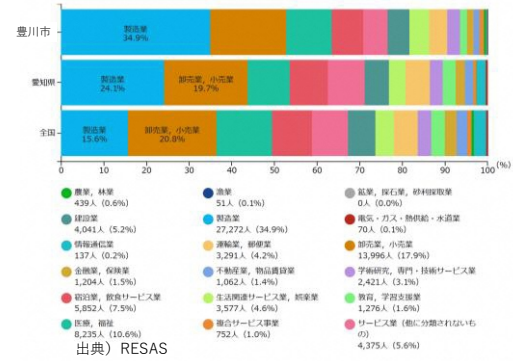
8

<事業所数> 製造業は強いが、宿泊・飲食サービス業がやや弱い



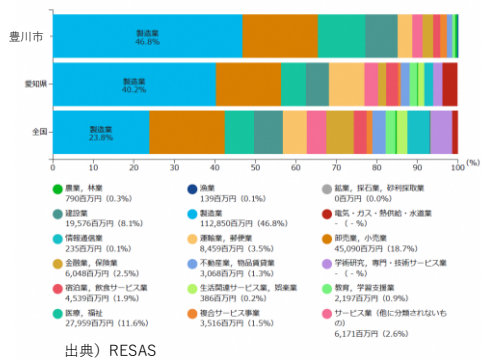
9

<従業者数> 製造業は強いが、宿泊・飲食サービス業がやや弱い



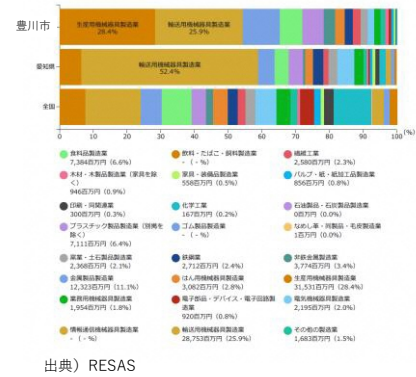
10

<付加価値額> 製造業・医療・福祉・建設業で稼ぐ産業構造



11

<製造業の付加価値額> 生産用機械器具、輸送用機械器具で全体の5割以上



12

<ポイント>

- 日本の人口自体が減少する中で人口減少に負けない強い地域経済が必要
- それでも元気な首都圏、西三河からの消費者を獲得
- 市外からの通勤者に如何に市内で消費してもらうか
- 宿泊・飲食業の可能性
- インバウンド需要の獲得

13

地域経済循環とは何か

1. 皆さん、仕入れはどこの品を使っているでしょうか？
2. 従業員の皆さんは、どこに住んでいますか？
3. 従業員の皆さんは、どこで買い物をしますか？

豊川市内に工場や店舗が沢山あって、そこで働く人が多くいたとしても、

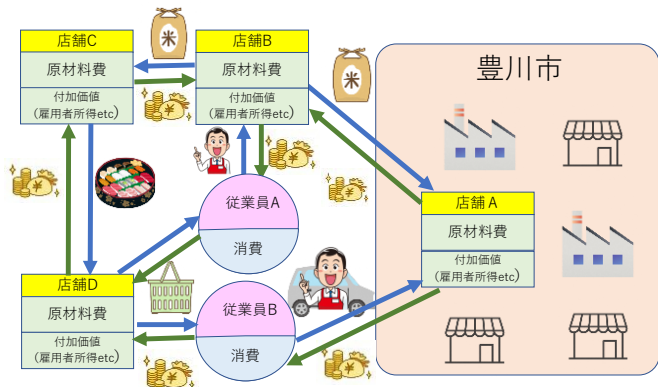
もし、

1. 仕入れは全部市外から
2. 従業員は全員市外から通勤
3. 従業員の買い物は全部市外 だとしたら

豊川市で頑張って働いても豊川市の経済は潤わない。

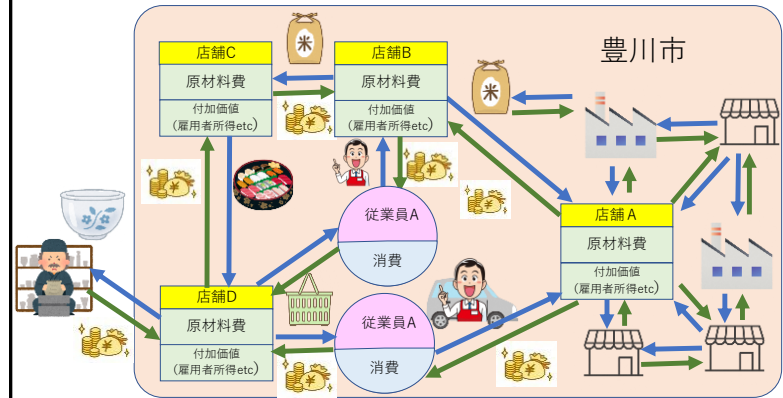
14

地域で頑張っているが、地域経済は潤わないケース

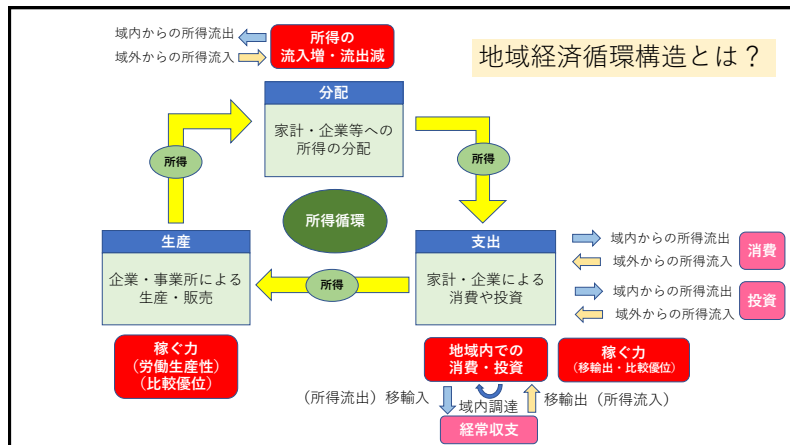


15

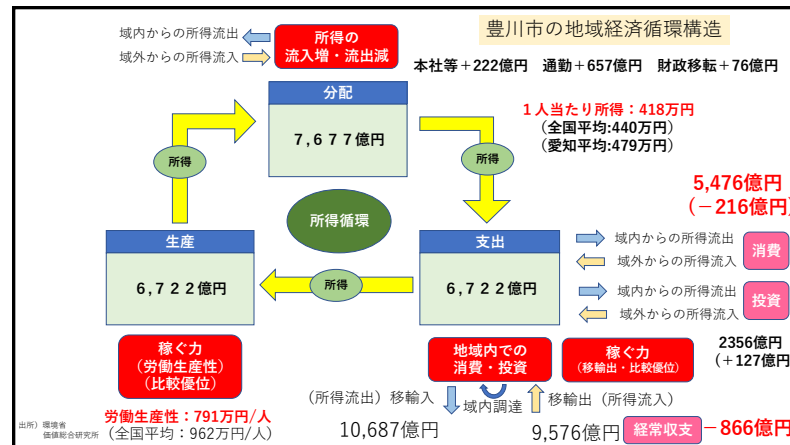
地域経済循環でどんどん潤い活性化するケース



16



17



18

地域経済の活力を高めるために

- 稼ぐ力 (生産面)**
 - ①地域産業の生産性 → 地域の労働生産性の向上
 - ②地域産業の比較優位 → 他地域より得意な産業への特化
 - ③核となる産業の生産性 → 中核産業の労働生産性の向上
- 所得の循環 (需要面)**
 - ①分配面での所得の流出入 → 生産・販売で稼いだ所得の流れ (通勤による流出など)
 - ②消費面での所得の流出入 → 稼いだ所得による消費の流れ (買い物先、観光客の流入)
 - ③投資面での所得の流出入 → 稼いだ所得による投資の流れ (設備投資など)
 - ④経常収支での所得の流出入 → 域外からの原材料購入・域外への販売 (移輸出 > 移輸入)

19

地域事業者はどうすればいいか？

稼ぐ力

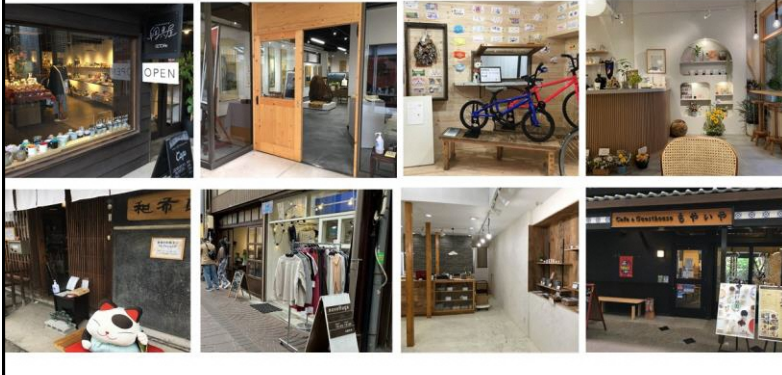
- ①生産性の向上 (薄利多売からの脱却、デジタル化)
- ②他地域に負けない商品・サービス
- ③目玉となる商品・サービス

所得循環

- ①従業員の市内居住の促進
- ②ターゲットとしての豊川市民、観光客の獲得
- ③店舗改装・設備投資による魅力アップ・生産性向上
- ④市内製品・サービスの調達率向上 (地産地消の促進)

20

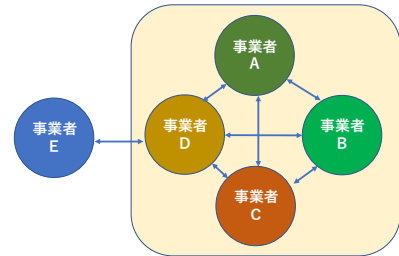
瀬戸市 空き店舗リノベーションによる魅力アップ



21

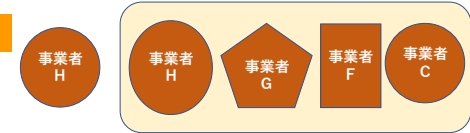
ネットワーク

- ①市内ネットワークの強化
(調達、情報、企画)
- ②市外ネットワークの形成
(不得意分野の調達)
(情報、企画)



集積化

- ①〇〇のメッカ形成



22

<市内ネットワークの例> 地域通貨

さるぼぼコイン (岐阜県高山市・飛騨市・白川村) 2017年～

- ・飛騨信用組合主体による日本初のデジタル地域通貨
- ・1コイン=1円で有効期限は1年間
- ・ユーザー数約25,000人、加盟店舗1700店舗 (2022年1月)
- ・市民税、国民健康保険、水道料金などの支払いも可能
- ・累計決算額は51億円
- ・経済効果は生産額80億円増、所得28億円増 (高木・石川ら)
- ・飛騨信用組合窓口・チャージ機、セブン銀行ATMでチャージ
- ・さるぼぼコインタウンでしか買えない裏メニュー
「さるぼぼコインタウン」

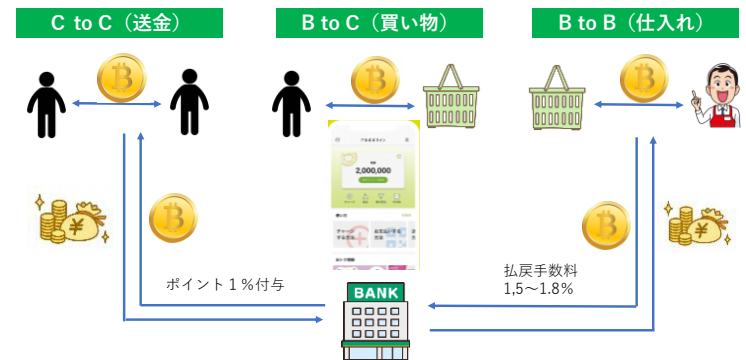


<その他の例>

埼玉県深谷市、千葉県木更津市、東京都葛飾区、東京都世田谷区、長崎県南島原市、長野県松本市、熊本県人吉市・・・

23

さるぼぼコインのスキーム



24

豊川市の魅力

- 神社仏閣（豊川稲荷、三明寺、大恩寺、宮道天神社、西明寺・・・）
- 自然（本宮山、豊川、御津の海・・・）
- 祭（おいでん祭、砥鹿神社例大祭、風まつり、豊川夏まつり・・・）
- 東海道（御油、赤坂）
- 食（いなり寿司、うなぎ・・・）
- 特産品（大葉・ハーブ、薔薇、トマト、スプレーマム、いちご、鮎、・・・）
- 天然温泉（本宮の湯）
- 商店街（豊川門前通商店街、・・・）

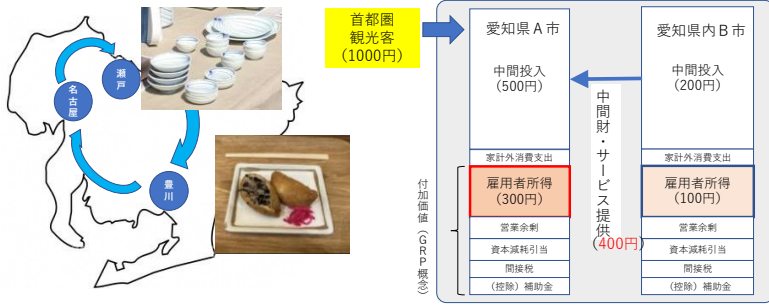
25



26

豊川市と他地域のネットワークの構築

首都圏・海外の観光客獲得と連携・周遊の促進
 (新しい関係性の構築で地域の強みを掛け合わせ)



27



28

<ポイント>

- 稼ぐ力（供給力）と所得循環（需要力）をつける
- 市内事業者間のネットワーク力を高める
- 不得意分野は市外ネットワークで補う
- 他の地域には負けないメッカを形成する



- 他地域からの誘客を促進
- 自然、文化、歴史などレベルの高い地域資源を活用
- 足りないものは他地域を利用
- 他の地域にない特色の強化・創出
- 市内循環の仕組みづくり（人・金）